

一九二五番

朝戸出あさとでの 君が姿きみがすがたを よく見みずて 長ながき春はる日を  
恋こひや暮くらさむ

一九二六番

春山はるやまの あしびの花はなの 悪あしからぬ 君きみにはしる  
や 寄よそるともよし

一九二七番

石上いそのかみ 布留ふるの神杉かむすぎ 神かむびにし 我あれやさらさら  
恋こひにあひにける